

# 韓国語の尊敬形 ‘-si-’ の不使用状況に関する一考察

## —ドラマの台詞をデータとして—

金アラン(上智大学)

### 1. はじめに

韓国語の尊敬形 ‘-si-’ (以下 ‘-si-’) は主体敬語を実現する形である(例: 만나다(mannata) 会う, 만나시다(manna-si-ta) お会いになる). 日本語にも「お+連用形+になる」や「~られる」のような尊敬形が存在するため, 日韓語の尊敬語は一見似通ったものに思われる. しかし, 使用様相を比較してみると, 日本語の尊敬形より韓国語の尊敬形 ‘-si-’ の方が使用範囲が広い<sup>1</sup>. 例えば, 日本語では大学1年生が2年生の先輩に尊敬形を使う状況はあまり見られないが, 韓国語では1歳上の先輩に対しても尊敬形が普通に使われ, 次のような発話がよく自然である.

- (1) 선배, 그 책 읽으셨어요? 「先輩, その本お読みになりましたか?」  
senpay, ku chayk ilku-sy-esseyo?

このような ‘-si-’ の使い方は, 上下関係が厳しい韓国社会を反映しているようにも見えるが, 実際には韓国語でもすべての発話に ‘-si-’ が用いられるわけではなく, 同じ相手に対して ‘-si-’ を使ったり使わなかったりする. ‘-si-’ に関するこれまでの研究では, ‘-si-’ の機能や尊待する対象に焦点が当てられ, いつ, ‘-si-’ が使われないかについては言及されてこなかった. 普段 ‘-si-’ を使う相手に ‘-si-’ を使わない状況はどのような状況だろうか. 本発表では, 韓国のドラマをデータとし, どのような状況で ‘-si-’ が使用されないかを分析した結果を報告する.

### 2. 先行研究

話し手は主体との社会的関係や心理的關係によって, 尊敬形を使用するかどうかを決める. 年齢や社会的地位, 性別, 親密度など, 様々な要素が尊敬形の使用に影響を与えるが, どの要素がどの程度, 影響を与えるかはその時々で異なる(남기심・고영근, 1993).

尊敬形 ‘-si-’ の機能や用法は変化し続け, 近年では ‘-si-’ が聞き手敬語としても機能するようになり, 非文と言える ‘-si-’ の使用が指摘されている(이래호, 2012; 채준옥, 2013; 오현아, 2014; 김영일, 2016). ‘-si-’ が聞き手敬語を実現する例を(2)に示す.

- (2) \*주문하신 음료 나오셨습니다. 「ご注文された飲み物, \*出ていらっしゃいました。」(김영일 2016:64)  
cwumwunha-si-n umlyo nao-sy-essupnita.

이래호(2012)は(2)のような例について, 主にサービス業で見られるとしながら, いつも使っている丁寧体の hapnita 体や hayyo 体だけでは丁寧さの不足を感じ, 主体敬語の ‘-si-’ を用いて丁寧度を高めようとしていると述べた. このような ‘-si-’ の機能変化による過剰使用に関する議論は活発に行われている. 一方で, 尊敬形の使用が当然である相手との会話における ‘-si-’ の不使用には関心が向けられてこなかった. 同一人物に対する

<sup>1</sup> 尊敬形 ‘-si-’ は主体である人物だけでなく, 主体の身体部分, 生活の必須的な条件となるもの, 個人的な所有物を表す名詞にもつくことができ, このような敬語は間接敬語と呼ばれる.

例) 할아버지는 수염이 많으시다. 「お爺さんは髭が多くていらっしゃる。」(남기심・고영근 1993:336)  
halapecinun swuyemi manhu-si-ta.

尊敬形の使用・不使用を考えた場合, ‘-si-’を使用して立場や関係性を明確化し, ‘-si-’を使用しないことで親近感を表すことが容易に予想されるためであろう。普段, ‘-si-’を使用して話す相手に対して, ‘-si-’を使用しないのは, 親近感の表れだけを意味するのだろうか。本発表では韓国のドラマをデータとし, どのような状況で‘-si-’が用いられないのかを分析する。

### 3. 分析

分析にあたって使用したデータは, 2016年に韓国で放送された『Cheese in the trap』(全16話, 約1,019分)である。このドラマは大学が背景となっており, 若い世代の発話が多く収集できた。丁寧体を使用する相手に対して‘-si-’が使用されなかった発話を抽出した結果, いくつかのタイプに分けることができた。

まず, 相手を非難する時や相手に対して怒りを表す時に‘-si-’が使用されない場合があった。例を見て確認しよう。(3)は食堂のオーナー(A)とアルバイト生(B)の会話である。Aはお店のチラシにBの写真載せているが, Bが写真を撮り直したいと言うと, すでにモデル代としてご飯を奢ったから, 肖像権は自分にあると言い張っている。それに対してBがジャージャー麺一皿でそれはひどいと怒っている場面である。

(3) A: 난 분명히 탕수육 시키라고 말했다? 「私は猪豚注文しろと言ったよ?」

nan pwunmyenghi thangswuywuk sikhilako malhayssta?

B: 아, 시키면 때릴 것처럼 노력했잖아요!

a, sikhimyen ttayli- $\phi$ <sup>2</sup>-l keschelem nolyepw- $\phi$ -asscanhayo!

「あ, 注文しようとしたら殴りそうな感じで睨んでいたじゃないですか!」 (『Cheese in the trap』11話)

AはBが働くお店のオーナーであり, 年長者であるため, 丁寧な言い方をすべき相手である。実際, BはAに対して普段は尊敬形を使用しており, この会話の開始部も「오셨어요?(o-sy-sseyo? いらっしゃいましたか?)」から始まっている。Bの発話を分析すると, 때리다(ttaylita, 殴る)の主体も노려보다(nolyepota, 睨む)の主体も聞き手であるが, ここでは尊敬形‘-si-’が使用されていない。Bは自分の要求(=チラシに載せる写真を撮り直したい)を受け入れてくれないAに不満をぶつけており, Aの過去の行動を非難している。この例では下位者のBが上位者のAに自分の怒りをより明示的に表すために‘-si-’を使用していないと考えられる。

次の例も怒りを表現した例である。(4)は同じ学科の後輩(A)と先輩(B)の会話である。Bは学科の食事会の会費を横領し, グループ課題にも全く協力せず, いつも周りの人に助けを求めようとする先輩である。その先輩が今回はAが持っていた卒業試験の過去の問題を盗み, それに気づいたAが怒っている場面である。

(4) A: 선배, 어떻게... 창피하지도 않아요? 「先輩, どうして...恥ずかしくもないですか。」

senpay, ettehkey...changphiha- $\phi$ -cito anh- $\phi$ -ayo?

B: 그러길래 니가 순순히 먼저 보여 줬음 되는 거 아니! [中略] 너야말로 나 옛 먹인 게 한두 번이야?

kulekillay nika swunswunhi mence poye cwessum toynun ke anya! neyamallo na yes mekin key hantwu peniya?

「だからお前が先におとなしく見せてくれればよかったんだよ! お前こそ俺を何回も困らせたじゃん!」

A: ...과비 횡령이랑 팀플, 그거 선배가 잘못된 거잖아요. 맨날 남 탓만 하고 자긴

kwapi hoynglyengilang thimpul, kuke senpayka calmosha- $\phi$ -n kecanhayo. maynnal namthasman ha- $\phi$ -ko cakin

피해자인 척하는데 정작 모두에게 피해 주는 건 선배예요.

phihaycai- $\phi$ -n chekha- $\phi$ -nuntey cengcak motwueykey phihaycwu- $\phi$ -nun ken senpay- $\phi$ -yeyo. (『Cheese in the trap』14話)

「...学科費の横領やグループ課題の件, あれ悪いのは先輩だったじゃないですか。いつも人のせいにして自分は被害者のふりするけど, 実はみんなに被害を与えているのは先輩なんですよ!」

Aの発話を見ると, 창피하다(changphihata, 恥ずかしい), 잘못하다(calmoshata, 過ちを犯す), 남 탓하다(namthashata, 人のせいにする), 피해자인 척하다(phihaycain chekhata, 被害者のふりをする), 피해 주다(phihay

<sup>2</sup>  $\phi$ は‘-si-’が生起し得る位置に生起していないことを表す。

cwuta, 被害を与える)の主体はすべて先輩の B である。しかし、尊敬形‘-si-’は用いられていない。最初の発話である「창피하지도 않아요?」は、「창피하시지도 않으세요?(changphiha-si-cito anhu-se-yyo?)」のように2か所に尊敬形を使うことはもちろん、「창피하시지도 않아요?(changphiha-si-cito anhayyo?)」や「창피하지도 않으세요?(changphihacito anhu-se-yyo?)」のように1か所にだけ尊敬形を使うことも可能である<sup>3</sup>。しかし、この例ではどの位置にも‘-si-’が生起していない。また、最後の선배예요도 선배세요(senpay-se-yyo, 先輩でいらっしやいます)という表現が可能であるが、同じく‘-si-’は使用されていない。

また、もう一つの特徴として、このタイプの発話には修辭疑問文が多く見られたことが挙げられる。例えば、(3)의 노력봤잖아요, (4)의 창피하지도 않아요?, 그거 선배가 잘못된 거잖아요は相手の返事を求める疑問文ではなく、それぞれ「睨んでいたから怖くて注文できなかった」、「恥を知れ」、「私のせいではなく、先輩が悪い」という意味を表している。

次に、‘-si-’が使われないことが確認できたのは、相手に何かを要求する行為要求文であり、大きく二つに分けられる。一つ目は、次のように負担度の低い行為を要求する場合である。

- (5) [幼い頃の集合写真を指差しながら] 여기서 저 찾아 봐요. 「ここから私を探してみてください。」  
 yekise ce chaca pw-φ-ayo. (『Cheese in the trap』 6 話)

写真を見てそこから知り合いを見つけるのは、負担が大きい行動ではない。類似した例としては、손 좀 쥐 봐요(ちょっと手を出してください・見せてください)などが見られた。

二つ目は、相手のためを思って、ある行為を要求する場合である。次に見る(6)は、同じ学科の後輩が先輩に発話したもので、食堂でお肉ばかり食べている先輩に体のことを考えて野菜を食べるように言っている。このタイプの例は相手への負担度が高いにもかかわらず‘-si-’が使用されなかった。

- (6) 고기 좀 그만 먹고 야채 좀 먹어요. 야채가 몸에 좋대요. (『Cheese in the trap』 12 話)  
 koki com kuman mek(φ)<sup>4</sup>ko yachay com mek(φ)eyo. yachayka momey cogtayyo.  
 「肉ばかり食べないで野菜食べてください。野菜が体にいいんですって。」

話し手は、肉を食べるという行動を中断することと、野菜を食べるという別の行動への移行の両方を要求しているため、相手に与える負担度が高いと言える。‘-si-’の不使用は FTA の補償が行なわれていない点で望ましくないが、心的距離を縮められるという効果は期待できる。

次の例は、手を怪我して心配している患者に対する医者発話である。

- (7) 너무 걱정하지 마요<sup>5</sup>. 재수술하면 금방 원래대로 돌아올 테니까. (『Cheese in the trap』 15 話)  
 nemwu kekcegha-φ-ci ma-φ-yo. cayswuswulha-φ-myen kumpang wenlaytaylo tolaoltheynikka.  
 「あまり心配しないでください。再手術すればすぐ元に戻りますから。」

行為要求文は他の文に比べて、相手に与える負担度が高い。そのため、できるだけ丁寧な言い方をした方が望ましいと思われるが、相手の健康を考慮した助言(例 6)や、不安がっている相手を安心させるための発話(例 7)は、その行為自体が相手のためのことであり、「窓を閉めてください」のような行為要求文とは異なる。そのため、‘-si-’の不使用が無礼に聞こえたり、不快感を与えたりしない。

最後に、相手に敬意を表す時間的な余裕や心理的な余裕がない発話でも尊敬形が用いられない場合があった。(8)は警察官が犯人を捕まえるために走り出す直前に、一緒にいた市民に発話したものである。

<sup>3</sup> ただし「창피하시지도 않아요?」より「창피하지도 않으세요?」の方が自然である。

<sup>4</sup> 먹다の尊敬語は드시다であり、먹고と먹어요を尊敬形にすると、それぞれ드시고, 드세요になる。

<sup>5</sup> 否定文であるため、(4)의 창피하지도 않아요と同様に、尊敬形が生起し得るのは2か所であり、最も丁寧な言い方は걱정하시지 마세요(kekcegha-si-ci ma-se-yyo, ご心配なさらなくてください)である。

- (8) 여기 꼼짝 말고 있어요. 「ここから動かないでください。」(『Cheese in the trap』7話)  
 yeki kkomccak malko iss(φ)<sup>6</sup>-eyo.

普段は丁寧な言葉遣いと態度で市民に接している警察官が、容疑者を目の前にしている緊迫した場面である。市民を危険にさらさないため、ついて来ないように注意しているが、走り出す直前の発話であるため、時間的余裕がなく、尊敬形をつけずに発話している。

次の例は、新学期の歓迎会で、復学した先輩に話しかけている後輩がお酒をこぼしてしまい、そのお酒が先輩にかかってしまった場面である。

- (9) 저 기억 안 나세요?...입학할 때 한 번 뵈었는데 바로 군대 가서...<お酒をこぼす>선배, 괜찮아요?  
 ce kiek an na-se-yyo? iphakhal ttay han pen pwayssessnuntey palo kwuntay ka-sy-ese... senpay, kwaynchah-φ-ayo?  
 「私のこと覚えていらっしゃるんですか? 入学した時、一度お目にかかったのですが、すぐ軍隊に行かれて...  
 <お酒をこぼす>先輩、大丈夫ですか?」 (『Cheese in the trap』1話)

前の発話を見ると、기억 안 나세요?(kiek an na-se-yyo?)と바로 군대 가소서(palo kwuntay ka-sy-ese)のように尊敬形‘-si-’が用いられているが、最後の発話は‘-si-’がついた괜찮으세요?(kwaynchanhu-se-yyo?, 大丈夫でいらっしゃいますか)ではなく、‘-si-’がついていない形が用いられている。相手にお酒をかけてしまった状況であるため、より丁寧な言い方が望ましいと考えられるが、相手に迷惑をかけてしまったという当惑感で心理的な余裕がなく、そのため尊敬形をつけずに発話していると考えられる。

#### 4. おわりに

本発表では、どのような状況で尊敬形が使用されないかを分析した結果について述べた。分析の結果、(i)相手を非難する時や相手に対して怒りを表す時、(ii)行為要求文を用いているが、相手への負担度が低い時や相手のことを考えてその行為を要求する時、(iii)相手に対する敬意を表す時間的な余裕や心理的な余裕がない時に‘-si-’が用いられない場合があることが分かった。また、(i)に関しては返答を求めない修辭疑問文による発話が多いことも指摘した。

上下関係が厳しい間柄や親密度が低い関係では、上記のような場面でも尊敬形‘-si-’が用いられる可能性が高い。相手に不満があっても表明しないことも十分考えられる。本発表では、年齢差が少なく、親密度が高くなれば非丁寧体の使用も許される大学生の発話をデータとしたが、社会人の発話を分析すると異なる結果が見られる可能性がある。今後は大学生の発話と社会人の発話がどのような共通点と相違点を見せるかについて明らかにしていきたいと考える。多様な人間関係と様々な場面における発話を収集し、今回の結果を補完していきたいと考えている。

謝辞 本研究はJSPS 科研費 17K3449 の助成を受けたものである。

#### 参考文献

- 채춘옥 (2013). 선어말 어미 [-시-]에 대한 소고(先語末語尾[-si-]に関する小考) 한국학논총(韓国学論叢), 39, 411-443.  
 김영일 (2016). 청자 존대‘-시-’의 종합적 검토(聞き手尊待‘-si-’の総合的検討) 언어과학(言語科学), 23(1), 53-87  
 남기심・고영근 (1993). 표준국어문법론(標準国語文法論) 탐출판사  
 이래호 (2012). 선어말 어미 -시-의 청자존대 기능에 대한 고찰(先語末語尾-si-의聞き手尊待機能に関する考察) 언어학연구(言語学研究), 23, 147-166.  
 오현아 (2014). 선어말어미 -시-의 문법 교육 내용 검토: -시-의 청자 높임 기능을 중심으로(先語末語尾-si-의文法教育内容検討: -si-의聞き手敬語機能を中心に) 인문과학연구(人文科学研究), 40, 157-180

<sup>6</sup> 있다의尊敬語は계시다であり、있어요を尊敬形にすると、계세요になる。